

議会報告会を 7月豪雨の被害から、

参加者の 主な意見

- ▶ 排水ポンプの機能や能力の増強を
- ▶ 避難場所の在り方について検討を
- ▶ 防災や避難に対する住民の意識向上も必要だ
- ▶ 新総合体育館周辺のまちづくりの検討を
- ▶ 自転車を利用するモラルの周知を

問 多くの場所で床上・床下浸水などの被害があった。排水ポンプなどの機能や能力について確認し、必要な場所は増強を考えてほしい。
また、河川やため池に相当量の土砂が流れ込んでいるので、対応をお願いしたい。

答 排水ポンプについては、県の有識者検討会や福山市域における浸水対策協議会で要因を分析され、協議内容によってポンプの増強等が検討されます。
土砂の撤去については、要望があったことを市へ伝えます。

問 避難場所の開設について、行政の人がいなかったり、場所によっては浸水した場所もある。
避難場所の位置など、在り方について検討を。

答 ご意見があったことを市に伝えます。

問 我々、住民側も災害に対する備えや、避難行動などの意識があまりにも低かった。今後、備えや避難について、個々人の感性を上げる啓発が必要と思う。

答 市と自治会、自主防災組織が連携し、各自治会では学区防災計画や地域防災マップを作成しています。議会としても、市民に対しどのように周知し、避難行動をとっていただくか検討し、取り組みを進めていきます。

報告会開催の評価と参加者の年齢 (アンケートから抜粋)

評価する	171人	33.5%
まあまあ評価する	213人	41.8%
あまり評価しない	41人	8.0%
評価しない	3人	0.6%
無回答	82人	16.1%

議会報告運営委員会 所見

災害復旧や台風の接近もあり、昨年よりも参加者数は減少しましたが、どの会場も活発な意見交換がなされ、ありがたく思っています。

皆さまから頂いた多くのご意見や、アンケートの結果については、今後の議会活動に反映させていただきます。

なお、詳しい内容は、11月1日からホームページに掲載します。また、各公民館にも備え置きますので、ご覧いただけます。

今後も、より開かれた議会をめざして取り組みを進めます。

委員長 榊原則男